

# 令和5年度 第1回三次市地域公共交通会議 議事要旨

## 1. 開催概要

日 時：令和5年5月29日（月）15時45分～17時15分

場 所：みよしまちづくりセンターペペらホール

出席者：

〔会長〕 三次市 副市長 堀川 亮

〔委員〕

三次市地域振興部 矢野 美由紀	備北交通株式会社 實兼 利光
十番交通有限会社 有木 好文	私鉄中国地方労働組合備北交通支部 長谷川 和宏
君田町 今本 豊	甲奴町 畠 真樹子
三次広域商工会 中宗 久之	三次市社会福祉協議会 梶原 真美
中国運輸局広島運輸支局 中井 孝司	広島県警三次警察署 若宮 晋
米子工業高等専門学校 加藤 博和	

〔オブザーバー〕

西日本旅客鉄道株式会社広島支社 福永 修二

## 2. 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
  - (1) 三次市地域公共交通会議委員の交代について
- 4 協議事項
  - (1) 三次市地域公共交通会議役員について
  - (2) 中国バス甲奴・三次線の廃止について
  - (3) 中国バス甲山・三次線の増便及びダイヤ改正について
  - (4) 三次市民バス甲奴町線の再編について
  - (5) 備北交通「こども乗り放題パス」発売について
- 5 その他
- 6 閉会

### 3. 議 事

#### 1. 開 会

<委員自己紹介>

#### 2. 会長あいさつ

#### 3. 報告事項

<事務局より、報告事項(1)「三次市地域公共交通会議委員の交代について」を説明>

#### 4. 協議事項

<事務局より、協議事項(1)「三次市地域公共交通会議役員について」を説明>

(会長)

協議事項(1)はご承認いただくということで異議はないか。

(一同)

異議なし

<事務局より、協議事項(2)「中国バス甲奴・三次線の廃止について」を説明>

(加藤委員)

廃止の理由を少し具体的に教え欲しい。経緯としてはどの時点で申し出があり、市はどう対応されたのか。また不利益を被る利用者がどの程度いるのかが気になるため、現状の利用実態を教えて欲しい。

(事務局)

廃止の理由としては運転手不足が最も大きい。今後も運転手が不足する中での体制見直しが理由と聞いている。

経過としては昨年9月26日に市に意向が伝えられ、三次市から中国バスへ存続の要望を出したが、最終的には1月13日に役員訪問があり継続困難との説明を受けた。その後地元で経緯等を説明したが、代替交通について十分な合意が得られなかったため、当初は3月末の予定であったが6月16日まで運行することになった。住民説明会は、3月7日、3月29日、4月17日、5月13日に行った。

利用状況について、特に甲奴町から吉舎町については4便トータルの平均人数が1を切っている。3月13日から17日に、バスに乗り込んでの調査も行ったが、利用としては病院や買い物が主で、その頻度は低い状況だった。ただし、どうしてもバスを使わないといけない、という声を受けて、後の協議事項で代替バスについて説明する。

(島委員)

ご説明いただいた経緯については、甲奴町内の説明会や自治組織の役員から聞いており、事務局もご苦労が多いと思っている。住民の思いを聞く中で感じたことであるが、今回、住民はほぼ決まってから廃止を知り、また住民だけでなく地元議員を含めて知らなかったということが、感情として「地元がないがしろにされた」という思いを皆さんが持たれたことは確かである。

市の交通計画の事業に「路線バスの運行改善」があり、経常収支率が20%未満という利用が少ない所については順次見直し・改善を図っていくと明記されている。ただし、各住民自治組織単位の地区の中心と三次市中心市街地を結ぶ路線については広域的な移動を行う上で不可欠なものとして経常収支率に関わらず、一定の便数を確保する、ということが書かれている。

また、地域内生活交通検討会で運行事業者を含めて協議して見直す、とある。実際、旧町村では検討会がほぼ設置されているようであるが、甲奴町は設置されてなかった。話の持って行き場所がはっきりしていればよかったとも思う。

今回、甲奴町の皆さんが紛糾したところもあるが、地域公共交通を、今は使っていなくても今後使っていくであろう自分達が自分事として考えていきたい、という思いはある。今回の件は、今後、他地域でも出てくる話であろう。今後のためにもしっかりと検討して欲しい。

この「地域内生活交通検討会の設置」状況を改めてお聞かせいただきたい。

(事務局)

この度は住民の方々に心配をおかけした。対応が後手に回ったり、説明が足りなかった点も反省している。

地域内生活交通検討会は、平成28年より、各地域の交通は地域特性を活かした交通モードが良いであろうという考えで、地元自ら検討していただきたく設立をお願いしてきた。現在君田、作木、吉舎、作木、三和、川西、三良坂といった地域が組織されている。甲奴町はこれからであるが、今回の件を機に当時の支所長も設置が必要と話をされている。支所とも連携して繋げていきたい。

(加藤委員)

甲奴町には、他にピースライナーの発着もあり、中国バスの甲山・三次線の運行もある。先程運転手不足の話があったが、他の路線でも同様の状況ではないか。三次・大阪間や三次・福山間の高速バスが運休したままだが、同様の要因かと思う。中国バスの市内路線で同様の懸念はないのか。

もう1点、廃止路線図の中のCD間について。甲山方面から来るものは全て中央病院を回るので既に通っておらず、これを機会に廃止するという事でよろしいのか。

(事務局)

運転手不足について少し詳細に示すと、甲山営業所から甲奴発の運転手を配置することが高齢化で維持が難しいということであった。現在は尾道の営業所から応援に来てもらっており、非常に運転手に負荷がかかっているとのこと。甲山・三次線については甲山営業所からの発着であり今は対応は可能で、強化していくとのことのお話であった。ピースライナーも廃線・減便等の予定はない。ただし、運転手不足は全国的な問題であり、中国バスに限ったことではない。行政的な支援、例えば他の地域からバスの運転手に来ていただくといった就労面で情報を発信するなど、何かしら協力はしていかなければなら

ない。今回を機に中国バスとも連携するようになった。引き続き、行政的な支援も含めて、今の路線も継続できるような取組みを市としても進めたい。

CD間の神杉から三次高校前までについて。甲山・三次線は塩町交差点で左折するが、実績としては月に1～2人乗降する所であり、地元とも影響が少なからうという話をした。また三和町方面から三次に向かう数名廻神線がこの国道を通る。八次地区については三城線の本数が多いので対応可能であろうという考えで、甲奴・三次線が通っていたこの区間は廃止ということとしている。

(会長)

他にご意見等無いようであればご承認いただくということで異議はないか。

(一同)

異議なし

<事務局より、協議事項(3)「中国バス甲山・三次線の増便及びダイヤ改正について」を説明>

(加藤委員)

何月何日から実施するのか。

(事務局)

令和5年6月19日の月曜日となっている。

(加藤委員)

利用者や一般への周知はいつ頃からどのようにされるのか。以前乗車したことがあるが、13時に出発する甲奴行きの便は甲奴まで乗られる方は少ないが、旧三次市内や三良坂で降りる方は少なくなかった。改正後は現行よりも出発が早くなるので乗り遅れが発生する恐れもあり、丁寧な周知が必要である。また、これを機会に利用促進を図っていただきたい。

(事務局)

広報について、6月9日に広報みよしが各世帯に配られるが、その中で変更点を含めたダイヤを紹介する。また、甲山・三次線の三次市内の全バス停が入った時刻表を配る。また、音声告知等でも周知するなど、色々な手段を利用して周知を徹底していきたい。

甲山・三次線のダイヤについてだが、中央病院に行く場合、これまでは甲奴駅を8時20分に出て中央病院に9時3分に着く便の利用がかなりあった。利用者にとってこの時間帯の便が必要と考え、甲山を8時45分に出て三次中央病院に9時44分に着くダイヤを設定した。また、病院から三良坂、吉舎へ帰られる方は13時10分に中央病院を出る便の利用が多かったが、これが12時48分となる。

ダイヤは、乗務員の休憩時間も配慮して設定している。また、朝夕の時間帯は、通勤、通学での利用を考え、1便と4便は現状のまま変更しないものとした。

(梶原委員)

甲山・三次線は廃止するA～Bの間は通るのか。

(事務局)

A～B区間は甲山・三次線では通らない。世羅方面から来て国道184号を通過して吉舎、三良坂を通過して三次へ行く。中国バスの運行では甲奴町から吉舎町へ繋がる路線が無くなる。

(会長)

他にご意見等無いようであればご承認いただくということで異議はないか。

(一同)

異議なし

<事務局より、協議事項(4)「三次市民バス甲奴町線の再編について」を説明>

(島委員)

かなり複雑で、ぱっと見てもなかなか分かり難いと思う。周知方法はどのようにされていく予定か。

(事務局)

甲奴町の方には市民バスに登録していただく必要があり、乗り方についての資料として月水金の時刻やルートを記載したものをお配りする。

もう1つ、6月中に限り、16日まではこれまで通りのバスが走るが19日からは甲山・三次線のダイヤが変更になり、更に19日から30日までは甲奴、吉舎間を無料バスが運行する。この無料バスの時刻はデマンドではなく決まった時間に沿って走るものであり、こうした情報を6月は徹底したい。

7月3日からは登録と事前予約が必要である。支所とも連携して、質問等があればお答えしながらになるかと思うが、分かりづらい方には事前に説明をすることも考えていきたい。尚、周知については6月9日の広報みよしと一緒に配布する。

(会長)

これは電話予約ということで、委託先の事業者が電話を受けて、不明な点はそこに聞けば答えてもらえるような体制なのか。

(事務局)

現在、市民バスは甲奴タクシーが運行しており、電話予約も同じやり方になる。甲奴タクシーと話をしながら今進めている。

(有木委員)

私は三次市民バス吉舎町線の6コースを月曜から金曜まで運行している。月曜日と水曜日は宇都井

地区のCコースで朝お迎えして昼に送って行くが、そこと同じコースを代替バスが通るのではないか。そうであれば、今も利用者が少ないが、更に少なくなり私達の方が廃止や減便になってくるのではないか。今は1往復だが、代替バスは3回で、便利の良いバスに乗られると、こちらの利用者が減る。今度、免許を返納するので乗ると言われる方もいるが、一度廃止になると復活するのは難しく、不安である。

(事務局)

甲奴と吉舎を結ぶのは今まで路線バスが走っていた県道27号である。届け出上は宇都井地区も含まれるが、ルートはCコースと重ならない。基本的には甲奴・三次線の廃止で、吉舎谷の方に生じる不便を甲奴町の市民バスで対応するもので、Cコースが廃線になることは全く想定していない。

(長谷川委員)

吉舎中学校前での乗り換えについて、甲奴から出てきた方は6分で中国バスに乗り継ぎをされる。帰りは2分ということで問題ないと思うが、市民バスが遅延した場合に確実に乗り換えができる施策をとってほしい。市民バスと中国バスで運行事業者が違うため、同じ事業者の場合とは事情が異なる。

(事務局)

今のダイヤで7～8分あけており、乗り継ぎには問題ないと思うが、色々な要件が重なって遅れる可能性もあろう。中国バスには甲奴タクシーが運行する旨も伝えており、運行状況や緊急時の連絡の仕方は事前に話しておいて欲しいと甲山営業所の所長に申している。用心しながら進めていく。

(加藤委員)

複雑ですぐに理解は難しいと感じたため、運行開始後も検討会を通じて、また地域の集まり等で折に触れては丁寧に説明していただければ良い。

先程、甲奴町の方は登録が必要であるということであったが、甲奴町以外の方が利用したいときはどうすれば良いのか。甲奴タクシーに予約が必要であろうが、その周知も必要かと思う。これまで路線バスとして予約無しで利用できていたので、目配りしていただきたい。

遅延した場合の対応はお願いしたい。吉舎中学のバス停は上屋や椅子が無かったと思うので、運行開始後の様子を見て待合に適した所に移すことも検討して良いのではないかと。

また、予約が無い場合は運行されないのか。そして、小童地区の方がデマンドを予約して甲奴駅まで行った場合、そのまま連続して吉舎まで乗ることができるのか。

甲奴駅前から三次駅前までは100円で乗ることができるが、例えば甲奴地区のデマンドの300円を払って吉舎町までそのまま乗って、プラスの760円で乗れるのか。そうすると甲奴地区内のデマンドダイヤも甲奴吉舎のダイヤに合わせて改変されるのか。連続で乗れるのであれば利便性が向上していると捉えられる。

(事務局)

乗り方の説明については、開始後も利用者の声を聞きながら進め、ダイヤ見直しなど改善点があれば対応していきたい。

広報でお配りする市民バスの予約方法等については、吉舎町にも配る。ゆげんきに行きたい方が市民バスを利用するかもしれない。甲奴町、吉舎町以外の方であっても、甲山・三次線で訪れて吉舎中学校で降り、市民バスに乗り換えるような場合は登録が必要である。

バス停については、現地を見て回ったが、吉舎町内で車が待つことができ乗り換えがしやすい場所として吉舎中学校前が一番良かった。三次方面の場合は待合所もあるが、基本的には車を停車して路線バスが来るまで待機してもらい、バスが見えたら皆さんに降りて乗り換えてもらう。

また、デマンドで自宅に迎えに来てもらうと 300 円で吉舎中学校前まで行ける。帰りも 300 円で吉舎中学校前から乗って自宅前まで送ってもらえる。特に乗り換えは必要無く、荷物が多い方にとっては利便性が良くなるものと期待している。

(加藤委員)

甲奴・三次間にはJR福塩線も通っている。今回は路線廃止による代替措置であるが、福塩線の利用促進も合わせて「どっちも割」のようなものが設定できないか。三次・甲奴間、三次・吉舎間を設定すると全体の移動の本数が増えて利用促進に繋がる可能性もある。あるいは、今は乗り継ぎの運賃でそれぞれ支払う必要があるが、これをパック料金で支払える、といった利便性向上策も考えられる。

(事務局)

この度は代替バスであるが、中国バスでは運行ダイヤを決めるときに福塩線の利用も含めて検討されている。例えば、朝三次方面に向かう便であれば甲奴町を7時前に出るダイヤもある。帰りについても、先程中央病院を12時48分に出るとご説明したが、17時台もある。このバスとバスの間にはJRが走っているという使い方も想定されている。うまく公共交通を利用して欲しい。先程の加藤先生のご意見も色々と研究したい。

(島委員)

周知に関して、住民とお話する中で、自分達もちゃんと話を聞いて説明をしていかないといけない、という前向きな声も出ている。行政だけに頼らず、地域住民でできることを進めていければと思う。お互いに情報共有をしながら積極的に考えたいのでよろしくお願ひしたい。

予約に関して、甲奴タクシーには地域密着で色々と協力してもらっている。今は書面で登録して、電話で予約しているが、高齢者だけでなく通学や夏休みの子供の移動などを考える上でLINEを使った予約なども進めていく必要があるのではないか、との地域の意見があった。特に高校生は日影館高校への通学で使えるのではとの意見もある。電話以外の方法も考えていただけるのか。

停留所について、市の計画に停留所の整備が盛り込まれている。使いやすい停留所は安全であり、利用促進にも繋がる。見直しをしながら更に良い方法を考えて、地域住民と話をしながら検討を進めていただきたい。

甲奴タクシーにはとても協力していただいております、また十番交通、備北交通も含めて地域の交通資源が無ければ成り立たない。今回、新たな動きが始まることもあり、地域でも感謝を示していかなければならないと考えている。何かできたらと思う。

(事務局)

新しいバスの乗り方等について、周りに分かった方がいらっしゃれば困った方の助けになる。市からも機会があれば説明にうかがうし、乗り方が分かる人を増やす取組みなど、支所にも相談しながら進めたい。出前講座を実施しても良いかと思う。

電話予約に関して、先程加藤先生から予約が無ければ走らないのかとのご質問があったが、その場合は走らない。

日彰館高校の生徒が乗る、という声はお聞きしている。電話以外のアプリ等での予約は、既にある仕組みを活用できないかも含め検討したい。

停留所の整備に関して、吉舎中学校前で乗るところは立派な待合所があるが、降りる所は老朽化している。その場所が使えるのであれば、新しく整備することも検討対象になるかと思う。

甲奴タクシーさんについては、便数が増え、1人従業員を増やそうかという意見もあった。雇用が増えるという意味では非常に良い。伴って費用も発生するので適切な支援はさせていただき、勿論感謝をしながら進めていく。

(有木委員)

吉舎の宇都井地区からどういうルートで中学校まで行くのか教えてほしい。

(事務局)

今まで中国バスが走っていた県道 27 号で峠を上って下り、そのまま国道 184 号へ出る。現在、市民バスが走っている宇都井の老人集会所等の方面は走らないため、こちらは今まで通り市民バスで対応していただく。

(有木委員)

廃止路線 A～B が 3 ページにあるが、中国バスは廃止するが、甲奴タクシーがこのままを走るということが良いか。

(事務局)

その通りである。

(有木委員)

廃止路線の区間はフリー乗降になるのか。

(事務局)

これまで通りフリー乗降で乗っていただく。

(若宮委員)

市民バスはどのような車なのか。緑ナンバーになるのか。



(事務局)

甲奴タクシーのジャンボタクシーである。

(島委員)

今回の件は大きな変化であると思う。地域公共交通会議の要綱に軽微な変更は書面で行うとの記載があるが、元々今回の会議は、日程の都合と思うが、書面会議の予定であったとお聞きしている。今後のために書面会議と対面会議の設定の考え方を確認したい。

(事務局)

令和2～4年度は、コロナ禍のため集まることを避け、案件は全て書面決議で行っていた。また今回は、日程調整がうまくいかずにそういった計画もしていた。今後は、コロナが明けたため、従来通り対面会議として開催したい。

「軽微」というのは、交通会議では既に協議が整っているといったものと考えている。委員に集まっただけには1ヶ月前あたりから日程調整を行うこともあり、その必要があるか無いかという判断もするが、基本的には対面でさせていただくことになる。

(会長)

「軽微」の定義は要綱に明確には書いていないが、たとえ書面協議でもご意見をいただく欄は用意されており、その結果を参考にさせていただくことになる。開催は状況に応じて、ということであろう。

他にご意見等無いようであればご承認いただくということで異議はないか。

(一同)

異議なし

<事務局より、協議事項(5)「備北交通「こども乗り放題パス」発売について」を説明>

(實兼委員)

「こども乗り放題パス」はここ5～6年やっている。小中学校でバスに乗っていただかないと、もうバスに乗る機会はないのではないかと、という考えで利用促進として特に力を入れている一環である。アンケートを見ると、中学生はクラブ活動が多いが、小学生は親御さんと一緒に乗ってみた、という回答がある。こうした機会にバスと触れ合って、未来のユーザーになっていただきたい。

(会長)

ご意見等無いようであればご承認いただくということで異議はないか。

(一同)

異議なし

6. その他

無し

7. 閉会